

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公表番号】特表 2020-537649 (P2020-537649A)

【公表日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-052

【出願番号】特願 2020-520804 (P2020-520804)

【国際特許分類】

C 07K 16/30 (2006.01)

C 07K 19/00 (2006.01)

A 61K 39/395 (2006.01)

A 61K 38/08 (2019.01)

A 61P 35/00 (2006.01)

A 61P 43/00 (2006.01)

A 61P 1/04 (2006.01)

A 61P 15/00 (2006.01)

A 61P 11/00 (2006.01)

A 61P 17/00 (2006.01)

A 61P 13/08 (2006.01)

A 61P 1/18 (2006.01)

A 61P 25/00 (2006.01)

A 61P 1/02 (2006.01)

A 61P 11/02 (2006.01)

A 61P 11/04 (2006.01)

A 61P 27/16 (2006.01)

A 61K 47/65 (2017.01)

A 61K 47/68 (2017.01)

A 61K 47/55 (2017.01)

C 12N 15/13 (2006.01)

C 12N 15/11 (2006.01)

【F I】

C 07K 16/30 Z N A

C 07K 19/00

A 61K 39/395 N

A 61K 39/395 L

A 61K 38/08

A 61P 35/00

A 61P 43/00 1 1 1

A 61P 1/04

A 61P 15/00

A 61P 11/00

A 61P 17/00

A 61P 13/08

A 61P 1/18

A 61P 25/00

A 61P 1/02

A 61P 11/02

A 61P 11/04

A 61P 27/16

A 6 1 K 47/65

A 6 1 K 47/68

A 6 1 K 47/55

C 1 2 N 15/13

C 1 2 N 15/11

Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月13日(2021.5.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

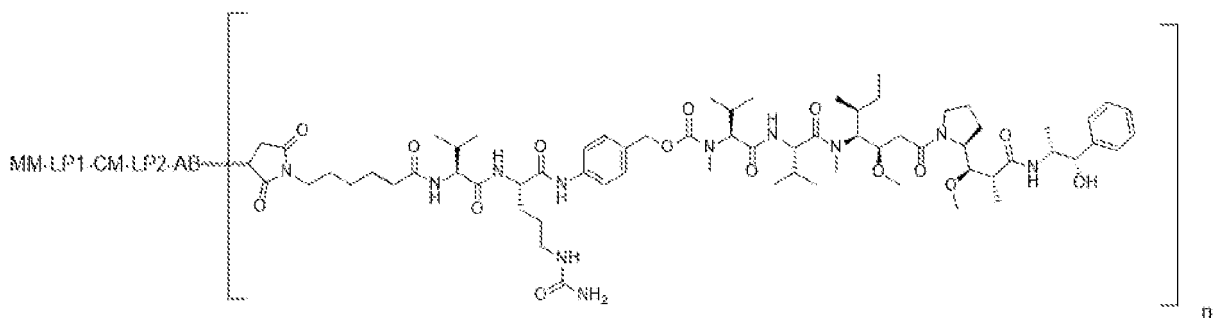
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式(I)：

【化 1】



式(I)

[式中、

(a)

(i) A B は、ヒト C D 7 1 に特異的に結合し、

i . 配列番号 9 を含む C D R H 1 配列、配列番号 1 0 を含む C D R H 2 配列及び配列番号 1 1 を含む C D R H 3 配列を含む重鎖可変領域、並びに

i i . 配列番号 1 2 又は配列番号 1 3 を含む C D R L 1 配列、配列番号 1 4 を含む C D R L 2 配列及び配列番号 1 5 を含む C D R L 3 配列を含む軽鎖可変領域を含む抗体であり、

(i i) M M は、配列番号 1 8 のアミノ酸配列を含むマスキング部分であり、ここで、活性化可能なコンジュゲート抗体が非切断状態にある場合に、M M は、A B の、ヒト C D 7 1 への結合を阻害し、

(i i i) L P 1 は、配列番号 2 0 7 のアミノ酸配列を含む、第 1 の連結部分であり、

(i v) C M は、配列番号 1 5 6 の配列を含む切断可能部分であり、ここで、C M は、プロテアーゼに対する基質として機能するポリペプチドであり、

(v) L P 2 は、配列番号 3 8 のアミノ酸配列を含む、第 2 の連結部分であり、

(b) 「 n 」は 2 である。]

の構造又はその塩を含む、活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 2】

A B が、I g G 1 アイソタイプを含む、請求項 1 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 3】

A B が、重鎖定常領域を有する抗体であり、ここで、重鎖定常領域の C 末端残基が、リシンではない、請求項 1 又は 2 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 4】

重鎖可変領域が、配列番号 5 の配列を含み、軽鎖可変領域が、配列番号 7 の配列を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 5】

配列番号 1 6 7 の配列を含む重鎖及び配列番号 1 9 の配列を含む軽鎖を含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 6】

配列番号 5 の配列を含む重鎖可変領域及び配列番号 2 0 1 の配列を含む軽鎖可変領域を含む、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 7】

配列番号 5 の配列を含む重鎖可変領域及び配列番号 2 0 2 の配列を含む軽鎖可変領域を含む、請求項 6 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 8】

配列番号 5 の配列を含む重鎖可変領域及び配列番号 2 0 2 の配列を含む軽鎖可変領域を含み、配列番号 2 0 2 の N 末端アミノ酸が、ピログルタメートへと修飾されている、請求項 6 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 9】

配列番号 1 6 7 の配列を含む重鎖及び配列番号 1 6 9 の配列を含む軽鎖を含む、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 10】

配列番号 1 6 7 の配列を含む重鎖及び配列番号 1 7 0 の配列を含む軽鎖を含む、請求項 9 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。

【請求項 11】

配列番号 1 6 7 の配列を含む重鎖及び配列番号 1 7 0 の配列を含む軽鎖を含み、配列番号 1 7 0 の N 末端アミノ酸が、ピログルタメートへと修飾されている、請求項 9 に記載の活性化可能なコンジュゲート抗体。